

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

“日野弁丸出しが受ける” まち歩きガイド所感

▼第10回おしどり学園

土日祝日の対応を考えて 奥日野ガイド倶楽部が誕生

2月17日、第10回おしどり学園を開きました。今回は、「まちの魅力再発見〜まち歩きガイドをしよう〜」と題し、奥日野ガイド倶楽部のガイドであり、日野町歴史民俗資料館友の会事務局長でもある、杉本準一さんが講演を行いました。

同倶楽部が設立される前のころ、たたらなどに関心を持ち、日野町を訪れる人が徐々に増えていく中で、それらを案内するシステムがありませんでした。町観光協会も役場内にあり、土日は対応できないため、その受け皿として平成24年、奥日野ガイド倶楽部が誕生したのです。

また、根雨のまちなかを観光する際、拠点となるのは広い駐車場がある役場です。例えば、歴史民俗資料館を見学する場合、その間には本陣の門、本陣跡などの史跡が多く点在しています。「たくさんある町の魅力を見てほしい」。そのことが杉本さんがガイドを始めるきっかけとなりました。

“当たり前” が新鮮な観光客

はじめは「ようこそいらっしやいました」と標準語であいさつしていた杉本さん。ある時、「ようきてごしなつたなあ」と、日野弁であいさつしたところ、大受けし、大変喜ばれました。方言でのガイドが大きな収穫の一つとなり、今でも続けているそうです。

また、都会からの観光客がまちなかを流れる水路に目を奪われている様子を見て、当たり前の風景の中こそ、魅力が隠されているのだと気付かされたそうです。

超貴重！

絵地図に驚き、今と重ねる

次に、杉本さんは、「日野郡根雨宿田畑地積全図」（江戸時代末



▲絵地図をもとに話す杉本さん

期の根雨の絵地図）を紹介しました。地図のコピーには、出雲街道や歴史民俗資料館、近藤家などの観光スポットが書き込まれています。現在、ガイドは、この地図をもとにまち歩きを行っています。それだけでなく、当時の食生活やいけすでコイを飼っていたことなど、パンフレットに掲載されていないことも紹介し、ガイドにひと工夫行っています。

日野弁丸出し

“おかみさんガイド”

現在、日野町にはツアーだけでなく、個人や家族などさまざまなか形で訪れる観光客が増えていくそうです。そうしたさまざまなかニーズに 대응するため、同倶楽部では「おかみさんガイド」を考案。まちなかの商店で店番をしている女性に、まちの歴史や面白い話などを観光客に紹介してもらおうという取り組みです。

おかみさんガイドは、「どっから来たかって」「あすこは、おもしろいけん、行ってみねえ」などと方言丸出しで話しかけ、観光客に好評とのこと。杉本さんは、「観光客は、地元の人とふれあいたいとい

う思いがある。このように、町の人にもっと観光ガイドをしてほしい」と期待を寄せました。

まちの魅力は “皆さん自身”

最近、根雨のまち歩きガイドだけでなく、根雨と他地域とのつながりを意識しているという杉本さん。昨年には、黒坂の寺社仏閣巡りを企画し、観光客にも好評だったそうです。

そのほかにも、ふるさとのことばである「日野弁」を後世に残したいと、2年前に「日野ことば」その訛りとおもしろさ」を発行。地域の人から聞き取りをした約3千語の日野弁が記録されています。

最後に、「観光先で地元の人に声を掛けられるとうれしいもの。皆さんにもぜひそうしてほしい」と杉本さん。続けて、「まちの魅力は、皆さん自身です。皆さんが昔はあげしよつた。こげしよつた」と伝えていってほしい。それが若い人につながっていくことを期待しています」と語りかけました。学園生は、杉本さんの話に聞き入り、地域に伝わる方言などの文化や歴史を後世に残すことの大切さを学んだ様子でした。

《研修参加報告》

「鳥取県公民館研究集会」に参加して 日野町公民館長 山本 照夫

2月21日、鳥取市で、鳥取県公民館連合会による鳥取県公民館研究集会が開かれました。

同研究集会には、県下市町村公民館や教育委員会事務局職員、社会教育関係者など約200人が参加。少子高齢化をはじめ、多種多様な課題を抱える現代社会において、これからの公民館が果たすべき役割やあるべき姿について学び、加えて職員の資質向上を図ろうとするものです。

この研究集会で、香川大学生涯学習教育研修センター・長清国祐二さんが講演を行いました。その中で、「人口減少社会を迎え、今後、現状維持

のできない時代を迎える。すべてに選択と集中が必要」「私たちは何にあらがうのか、何を受け入れるのか」「持続可能性を示す生き残り方を自ら考え行動すべき」「総論賛成、各論反対では前に進めない」など、参加者へさまざまな問いかけがありました。

いずれも身近な事柄で、公民館が住民の皆さまの生涯学習、生きがいづくりのお手伝いをしながら、人づくり、地域づくりに役立つ働きをする上で、どんな活動が必要なのか。とても考えさせられた研修会でした。

黒坂小2年生が作った公民館新聞

黒坂小学校2年の梅林優衣さんと大田万葉さんが、小学校の総合学習で公民館の仕事について勉強し、「日野町公みんかん新聞」に調べたことをまとめました。

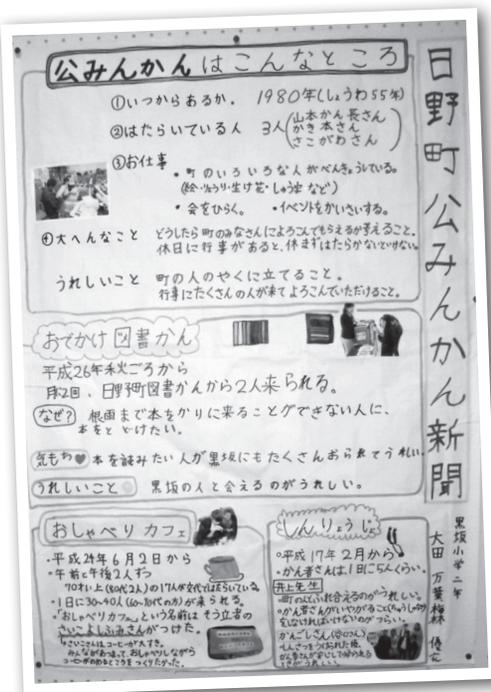
2人は、町公民館の仕事や利用者の様子のほか、館内にある黒坂診療所、おしゃべりカフェ、出前公民館のスタッフにも取材し、それぞれの活動を分かりやすくまとめてあります。

新聞は、町公民館ロビーに展示してありますので、ぜひご覧ください。

＜2人の感想＞

○公民館には、いろいろな役割があって、地域のことを考えた便利なおところだと思いました。公民館に来られている人たちは、みんな楽しそうでした。(梅林優衣さん)

○たくさんの方が公民館を使われていると知って、みんなが集まれるいいところだなと思ってうれしかったです。これからもお仕事を頑張ってください。(大田万葉さん)



生涯学習でふれあいと交流の輪を広げませんか

■平成29年度おしどり学園生募集

町内のどなたでも気軽に参加できる生涯学習の場で、毎月、学園生のにぎやかな声が公民館に響いています。いつでも参加できますので、皆様のご参加お待ちしております。

【期間】 4月から毎月1回(第3金曜日) 【場所】 町公民館(当日は、町営バスを臨時運行します)

【内容】

- ▼一般教養講座 毎月、自然・人権・歴史・健康など、さまざまなテーマで講師を招き、学習を深める講演会です。
- ▼グループ専門講座 料理や手芸、生花、写真、健康教室、歴史講座、音読のグループで活動しています。楽しく学び、生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりを行います。
- ▼町外研修 毎年、1回町外研修を行っています。

※一般教養講座だけ、グループ専門講座だけの参加でもかまいません。年齢制限もありませんので、ぜひお越しください。

【申込みおよび問合せ先】 町公民館(電話 74-0212)